

未来に向け、地域で支え合いながら

島民とともに健康で生き生きした生活を目指す

島しょ地域保健医療協議会は、平成 16 年 3 月に島しょに生きる人々が健康で生き生きとした生活を実現することを目指して「島しょ保健医療圏地域保健医療推進プラン」を策定しました。その後、5 年ごとの改定を経て、このたび、平成 30 年度から 6 年間の計画期間とする「島しょ保健医療圏地域保健医療推進プラン（以下「推進プラン」という。）」を策定しました。

この間、全町村において高齢者の割合は増加し、島しょ保健医療圏（以下「島しょ圏域」という。）の高齢化率は 34.2%となっています。一方で年少人口の割合は、概ね 12%程度に推移しており、著しい少子高齢化の進行がみられます。

人生 100 年時代を迎え、これまで幾多の厳しい環境下においても工夫や知恵により乗り越えてきた高齢者・生き生きと活躍し基幹産業に従事する高齢者の存在は、島の生活を支える大きな柱であります。さらに「健康寿命」の延伸は、島しょ圏域の未来に向け重要な要素の一つとなっています。

また、島しょ圏域の将来を担う子供たちは「島の宝」として、健全で安らかな生活が保障されなければならないと考えます。

推進プランでは、「島民、自らが自分の健康を守り、他者への見守りや地域での支え合い」を実践していくことを基本に捉え、災害対策等、前回の推進プランを継承しつつ、超高齢社会等の新たな課題に対し取り組むべき施策を掲げました。行政に携わる者だけでなく、島民の皆様とともに、多くの関係機関が協働して、健康で生き生きとした生活の実現を目指します。

推進プランの策定にあたっては、各町村で開催する連携会議において、現場の声を直接お聞きし、島しょ圏域の皆様のご意見を反映させることができました。

この計画に掲げた 6 年後を見据え、島民の方々、保健・医療・福祉関係者すべてのお力添えを得ながら、推進プランで示した施策を着実に進めたいと考えております。島しょ圏域における保健医療福祉を進めていく羅針盤として、多くの皆様にこの推進プランをご理解いただき、ともに手を携え、ともに努力しながら、推進プランの実現に向け御協力をお願い申し上げます。

平成 30 年 1 1 月

島しょ地域保健医療協議会会長 石館敬三

1	2	3
4	5	6
7	8	9

1：小笠原村（メグロ） 2：神津島村（赤崎遊歩道） 3：八丈町（天空の道）

4：三宅村（三本岳と夕日） 5：新島村（湯の浜露天温泉） 6：青ヶ島村（丸山）

7：利島村（椿） 8：大島町（赤ダレ） 9：御蔵島村（ハマユウ）